

スマイルリズム障害児通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）  
【事業者向け】自己評価表 集計結果 10人/10人 集計率100%

チェック項目	はい	いいえ	無回答	職員回答（自由記入欄）	管理者回答
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である。	10				厚生労働省の定める基準及びガイドラインに従い、利用定員に合わせたスペースを確保しています。
②職員の配置数は適切である。	9	1		・不足している場合は連絡を取り合い、迅速に対応している。	厚生労働省の定める基準に従い人員を配置しています。管理者、児童発達管理責任者、児童指導員、保育士、障害福祉サービス経験者、訪問支援員として従事しています。
③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	9	1		・場所と活動をできる限り、一室にしている。 ・視覚的に理解しやすい環境に整備している。 ・物の置き場所、床に物を置かない、など子供も一緒にルールを守る意識づけ。 ・玄関台に踏み台を設置。	構造化の観点から、各部屋での活動内容を可能な限り固定しています。仕切りや名札、シンボルカード、提出カゴ等を使い行動のしやすさを支援しています。視覚優位者に対して、写真カード、絵カード、スケジュールボード、選択肢カード等を用意しコミュニケーション上のバリアを軽減しています。玄関アプローチや階段の昇降負担軽減のため、踏み台ややすりを設置しています。
④生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	10			・掃除と生理整頓を徹底している。 ・清掃専門の職員がいる。	毎日、サービス提供終了後に清掃をしています。消毒剤で床、壁、机、椅子、手すり、棚の拭き取りも行っています。不要なものは生活空間から取り除き、児童、生徒の活動に支障のないようにしています。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	10				業務上の課題に合わせ、担当者同士または施設職員、法人職員で話し合いをする機会を設けています。課題の要因を探り、改善目標、方法、効果、再検討を繰り返しています。
⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	10				毎年度末に各保護者に事業所の評価をしてもらっています。結果は全職員で共有をしています。課題を整理して改善へとつなげています。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	10				評価表それぞれの結果を踏まえた支援の質の評価と改善内容をまとめ、各保護者へ配付しています。対外的には事業所のホームページを通じて公表しています。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	6	4			第三者評価は実施しておりません。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	10			・最近動画や資料を自分で見るタイプのものに変わってきているので業務時間内に終わらせることは難しく、期限内にこなすのが苦しいです。	年間計画を立てて研修を行っています。衛生管理、事故発生予防、虐待防止、身体拘束、個人情報の保護、感染予防、BCP、非常災害対策、法令遵守、ハラスメントに関する内容となります。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	10			・会議などで複数人で分析し、作成している。	個別支援計画書作成の前に保護者と面談をして、意向や近況等を把握します。それらを基に「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の領域にわたる情報を客観的に整理します。そのうえで児童発達支援計画書を作成しています。
⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	10				自施設でのツールの使用はありません。児童、生徒が他機関において、発達検査を受けた際、その結果を共有してもらい、支援内容に反映しています。

⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・している。</li> <li>・R6年3月より計画に明記。</li> </ul>	児童発達支援計画に記載している内容は「発達支援」が主となっています。「家庭支援」と「地域支援」行っているものの、全ての計画書への記載ができていません。児童や生徒の課題についての共有や助言、他サービス機関との連携、幼稚園や保育園との連携、自立支援協議会への参加等、実施している内容やこれから行っていく内容を順次計画書に明記していきます。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	10				毎回のサービス提供前にミーティングを行い、その日來所する児童、生徒への支援内容を確認し合い、実施しています。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っている。	10				「ライフスキルトレーニング」「工作」「感覚統合運動」「音楽活動」「音楽発表会」「各種イベント」の各プログラムをチームにて立案しています。
⑮活動プログラムが固定化しないように工夫している。	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員だけでなく保護者にも意見をつのっている。</li> </ul>	各種プログラムごとに年間計画を立てています。バランスよく、発展的に見えるようチームで検討をしています。
⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の朝礼と、平日は昼礼を行っている。</li> </ul>	児童、生徒の課題に応じて計画を作成しています。身辺処理、学習、各種プログラム、休み時間、集会参加等、個別活動と集団活動を組み合わせた内容としています。
⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、昼礼</li> <li>・必ずではない。自身の動きについて確認。各個人の積極的な主張と主張しやすい組織の雰囲気づくり。</li> <li>・毎日の朝礼と、平日は昼礼を行っている。</li> </ul>	毎回のサービス提供前にミーティングを行っています。全体の流れ、各職員の役割分担、プログラム内容、各児童、生徒の課題や支援内容等を確認し合っています。
⑱支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	7	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎後に行っている。</li> <li>・必要に応じ、オフラインSNSで共有している。</li> <li>・気づいた点は報告、共有している。職員ごとに働く時間や日時が異なるため共有の時間について考える。</li> <li>・毎回ではないが、気になることがあったときは共有できる環境になっている。</li> </ul>	支援終了後に職員間で振り返りや情報共有をしています。必要に応じ不在の職員への報告をしています。
⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録をとり、全職員に共有している。</li> </ul>	支援中は学習やトレーニング、読むトレGOの結果を記録しています。また、支援終了後には各児童、生徒に関するサービス提供記録を作成しています。保護者への公開、他職員への共有を行い、意見交換や支援の見直しを行っています。
⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	10				各児童、生徒の利用毎に、モニタリングを行っています。児童発達支援計画にある目標の達成度を測り、次につなげていきます。状態や環境が変わった場合には、計画の見直しを検討しています。
㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	9		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議がほとんどない。あれば参加する。</li> </ul>	現状、障害児相談支援事業所からのサービス担当者会議依頼はありません。収集があれば参画していきます。
㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	8	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、幼稚園、保育園、他デイトも共有はじめた。</li> </ul>	保護者様のご希望、同意があれば、関係機関と連携し、会議や情報共有を行っています。今年度は児童相談所とも連携をしていきました。
㉓（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	4	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>	現在、対象となるお子様がおりません。
㉔（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等との連絡体制を整えている。	3	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul>	現在、対象となるお子様がおりません。
㉕移行支援として保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校（幼稚部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・開始した。</li> <li>・協力していただける学校がもっとふえていくと有難いと感じています。</li> </ul>	保護者様に同意をいただき、行っています。幼稚園、保育園、児童発達支援施設と電話や直接の会議での情報共有していきました。

②⑥移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	10			・予定している。	保護者様に同意をいただき、行っています。今年度進級されるお子様は2024年4月以降に情報共有を予定しています。
②⑦他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	9		1		児童発達支援センター等と連携し、助言を受けたり、会議を行ったりしています。
②⑧保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	3	5	2	・バザーで子どもも来訪 ・現在、交流する機会は設けていない。	地域の保育園等との活動する機会はありませんでした。しかし、夏祭りではお子様のご家族にいらしていただき、利用者ではないご兄弟との触れ合いの機会はもてました。また、地域のバザーでは、近所のご家族が来て下さり、その中での交流は取ることができました。
②⑨（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	3	5	2		見沼区部会が発足され、第1回に参加してきました。今後も参加していきます。
③⑩日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	10				サービス提供記録では、保護者様へ「発達の状況や課題」について共有することを意識しながら記入しています。また、送迎時や面談、お電話等で必要などき都度行っています。
③⑪保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	6	3	1	・保護者からの相談を受け入れ、対応している。 ・HUGなどで個別に問い合わせがあった場合に丁寧に支援している。全体へはこちらから発していることはないような気がします。知らないだけでしたら、すみません。	ペアレント・トレーニングをプログラムとして行ってはいません。現状、個別での相談を受け入れる形となっています。法人内で話し合い、検討していきます。
③⑫運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	10				契約時に説明を行っていますが、十分に伝えきれていない可能性があります。HUGの活動記録にて事業所の重要な書類やマニュアル、様式を一つの記事にまとめ、定期的に更新していくことで改善を図っていきます。
③⑬児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ている。	10				個別支援計画書作成後に保護者様に同意をいただいています。ガイドラインの説明については不十分であることが多いので、今後の課題としていきます。
③⑭定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	10			・面談なども定期的に行い、保護者とゆっくり話し合う場を設けている。	面談、お電話、送迎時、HUGのメッセージ等で助言と支援を行っています。お電話では相手の表情が見えないため、今後LINE電話やZOOMの導入を検討しています。
③⑮父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	4	5	1	・バザー ・現在、保護者同士の連携は行っていません。 ・バザー等、昨日よりもそういった機会が増え、素晴らしいです。	父母の会、保護者会の開催は行っていません。しかし、夏祭りやコンサート、バザーといった保護者様やご家族が参加できるイベントを増やしてきました。
③⑯子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	10				保護者様からの相談や申し入れは「お客さんの声」という様式に記入し、記録しています。対応者を定め、対応の計画を組織で話し合い、行っています。
③⑰定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	8	1	1	・HUGにて ・インスタやブログ、HUG等で情報発信している。 ・現在は難しいと思いますが、スマイル新聞のようなものは保護者の方も嬉しいのではないかと思います。	紙面での会報は発行していません。活動概要や行事予定、連絡体制はHUGや個別のメール、メッセージ等で行っています。
③⑱個人情報の取り扱いに十分注意している。	10			・日案は支援後必ずシュレッターにかける。	個人情報の取り扱いに十分注意しています。しかし、忘れ物や持ち物の入れ違い等もあり、100%ではありません。今後も十分に気を付けていきます。
③⑲障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	10				言葉だけに頼らず、表情、ジェスチャー、文字、イラスト、具体物等を用いて、お子様とのコミュニケーションを行っています。また、保護者様に対しても、口頭で伝えた後に書面やメッセージ等で視覚的に残すといった必要な配慮を行っています。
④⑩事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		1	・バザーを開催し、地域の方に参加していただいた。 ・バザーを開催している。	昨年度より地域の方を招いてバザーを行っています。今年度は2024年3月20日(水・祝)に行いました。
④⑪緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	10			・171や避難訓練を定期的に行っている。	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定して訓練を実施しています。職員、保護者共に周知していますが、定着や、新規契約者様への周知に課題が残りました。今後はHUGの活動記録にて一記事にまとめ、定期的に更新することで改善を図ります。
④⑫非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	10			・定期的に避難訓練を行っている。	定期的に避難訓練を行っています。
④⑬事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	10			・送迎時に毎回体調について確認している。	3か月に1度、衛生管理研修を行い、てんかんや服薬、アレルギー等の確認を行っています。また、利用前には保護者様へお子様の体調について尋ねたり、学校の先生との引渡し時に異変を感じた場合には直ちに保護者様にご連絡しています。また、服薬は与薬依頼書を保護者様に依頼しています。

④④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	9		1		食物アレルギーのあるお子様には医師の指示書の写しを提出していただいています。また、食物アレルギーあるお子様への配膳時には記録をとり、担当者与管理者で確認を行っています。
④⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	9		1		ヒヤリハット事例集を作成しています。ヒヤリハットを記入、共有する時間を定め、定着を図っていきます。
④⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	9		1		虐待防止研修、虐待委員会を行い、対応しています。
④⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	9		1		身体拘束防止研修、身体拘束防止委員会を行い、対応しています。手つなぎや緊急時の対応について、個別支援計画に定め、同意をいただいています。
④⑧(放デイ)平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定してしえんしているか。	10				個別支援計画に定めてあるお子様の課題を把握、意識しながら対応しています。
④⑨(放デイ)ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	10				ア.自立支援と日常生活の充実のための活動、イ.創作活動、ウ.地域交流の機会の提供、エ.余暇の提供を組み合わせる支援を行っています。ウ.地域交流の機会の提供はバザー等で行いましたが、機会は少ない状況です。今後の課題として法人で検討していきます。
④⑩(放デイ)学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	10				○年間計画や行事予定、下校時刻の予定表を保護者様にお願いして共有していただいています。学校様から直接いただけることもあります。連絡調整については学校様の方針によって、保護者様を介したり、直接ご連絡いただいています。
51(放デイ)就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10				○保護者様の許可をいただいた上で、保育園、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等、お子様が利用していた施設と情報共有しています。
52(放デイ)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3			○今年度は対象となるお子様がいませんでした。対象者がいた場合には実施してまいります。

スマイルスタディ障害児通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）  
【事業者向け】自己評価表 集計結果 3人/3人 集計率100%

チェック項目	はい	いいえ	無回答	職員回答（自由記入欄）	管理者回答
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である。	3				○法令に則って、必要なスペースを確保しています。また、活動や人数によっては外や公共の施設を利用し工夫しています。
②職員の配置数は適切である。	2	1		・職員の人員不足	○法令に則って、必要な職員数を配置しています。また、2024年4月より新規職員が入职します。
③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また障害者の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	3			・物を置かないようにしている。	○一軒家を用いた施設のため、階段や段差があります。安全に配慮し、お子様が昇り降りするときには必ず職員が見守るようにしています。
④生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	3			・児童に合わせて物の配置を変えている。	○利用終了後、必ず清掃をしています。専門の清掃職員も雇用しています。活動によって部屋作りを行い、必要のあるものだけ出すようにしています。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	3				○研修や会議、朝礼、昼礼時に話し合いを行い、皆さんが参画できるようにしています。近隣の事業所と合同で常勤が集まり、月に1度会議を行っています。会議の内容は後日全職員へ共有しています。
⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	3				○毎年保護者等向け評価表を実施しています。結果を基に業務改善につなげています。また、土曜日祝日のイベントに関するアンケートなども今年度は行いました。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	3				○保護者、職員共にHPやHUG、オフラインSNSで公開しています。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	1	2			○第三者による外部評価を行っていません。今後の課題としていきます。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	3				○年間計画を立て、必須研修を月に1度以上行っています。（8月を除く）全員の参加を促すために、研修のWEB化を進めています。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	3				○半期に1度面談の機会を設け、現在の課題やニーズを聞き取りし、その上で個別の支援計画を作成しています。
⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	3				○標準化されたアセスメントツール（WISC-IV、田中ビネー知能検査、新版K式発達検査等）を保護者様から共有して頂き、お子様の適応行動の状況を図っています。
⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	3				○法改正を受け、対応中です。令和6年3月より順次対応しています。現在ご利用のお子様、保護者様にもご案内予定です。

⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	3			・昼礼時等に確認し合っている。	○個別支援計画に沿った支援を常に意識するようにしています。実態が異なってきた場合には個別のケース会議を行い、支援計画の修正を行っています。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っている。	3				○プログラムによって担当を決め、チームで活動内容を話し合い、年間計画を作成しています。
⑮活動プログラムが固定化しないように工夫している。	3				○学校休業日のイベントを毎月話し合い、固定化しないよう、お子様の方のニーズに合うよう設定しています。平日のプログラムは年間計画に沿いつつ、お子様方の実態やニーズによって変更することもあります。
⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	3				○お子様の発達課題やニーズに応じて、集団活動と個別活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援しています。
⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	3				○支援開始前に職員間で必ず打合せをしています。打ち合わせに参加できなかった職員への共有漏れを防ぐため、オフラインSNSをしようしたり、共有する職員を指定したりしながら、共有漏れを防いでいます。
⑱支援終了後は職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	3			・個人で共有し合ったり、翌日に打ち合わせしたりしている。 (朝礼・昼礼時) ・終了後、その日とは限らず、機会を見つけて行っている。	○その日の提供記録を共有し合い、支援の振り返りを各自行ってもらっています。話し合いが必要な場合には別日で会議を設けています。
⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	3			・提供記録を活用。	○提供記録の記入、共有を徹底しています。提供記録の中で気になったことは会議の議題としたり、良い支援であれば強く意識付けしたりしています。
⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	3				○半期に1度、面談期間を2か月程度設定し、ご希望の日程に合わせてモニタリングを行っています。その中で、計画の見直しを定期的に行っています。
㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	3			・関わりの多い職員が入るようにしている。	○障害児相談支援事業所からサービス担当者会議の参画を求められたことがありません。関係者会議は参画したり、こちらから提案したりしています。
㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	3			・学校、相談支援、他事業所	○必要な機関と連携を図りながら支援をしています。
㉓(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	1	1	1		○現在、医療的ケアを日常の中で必要とするお子様のご利用はありません。
㉔(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医等との連絡体制を整えている。	1	1	1		○現在、医療的ケアを日常の中で必要とするお子様のご利用はありません。
㉕移行支援として保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	3			・情報共有会を設けている。	○保護者様から許可をいただいた上で、保育園や幼稚園、認定子ども園等、お子様が所属している園と情報共有を行っています。
㉖移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	3			・情報共有会を設けている。	○保護者様から許可をいただいた上で、小学校や特別支援学校(小学部)等のお子様方が所属している園と情報共有を行っています。
㉗他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	3				○他の障害児通所支援事業と連携を取って行っています。
㉘保育所や認定子ども園、幼稚部等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。		3			○現在、障がいのないお子様方と交流する機会を設けておりません。今後の課題として、保護者様方のご要望や、お子様方の状況に応じて、検討していきたいと思っております。
㉙(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	3				○見沼区部会は発足されたので、参加しています。

③⑨日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	3			・提供記録を活用。 ・送迎時。	○定期的な面談だけでなく、提供記録やメッセージのやりとり、お電話や送迎時に口頭といった方法でお伝えしています。
③⑩保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	2	1			○ペアレントトレーニングはプログラムとして明確に位置付けていません。保護者様のご相談は随時受けています。
③⑪運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	3			・契約時に行っている。	○見学时やご契約の際に、支援内容や利用者負担（上限額について等）について説明しております。また、文書を作成し、お渡ししています。
③⑫児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ている。	3				○法改正に向けて現在対応中です。個別支援計画は必ず同意を得ています。
③⑬定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	3				○定期的な面談に加え、ご希望があれば面談やお電話、メッセージ等でお受けしています。
③⑭父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	1	2		・コンサート、発表会。	○現在、父母の会の活動支援は行っていません。しかし、夏祭りやコンサート、バザーといった保護者参加型のイベントを増やしていきまします。
③⑮子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	3				○保護者様方から頂いたご意見は、職員同士で話し合い、共有、改善するように努めています。また、対応者や責任者を事業所で定め、組織的に解決できるように整備しています。書式を「お客様の声」という題名にしたり、書式を簡略化したりしたことで共有しやすくなっています。
③⑯定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	3				○会報は発行していません。HPやブログ、インスタグラムといったWEBサービスで、個人情報に気をつけながら公表しております。また、活動概要や行事予定をHUGでお知らせしています。
③⑰個人情報の取り扱いに十分注意している。	3				○個人情報に十分注意しています。
③⑱障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	3				○必要に応じて、個別で配慮を行っています。
③⑲事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3			・バザー ・バザー、ゴミ清掃	○バザーを地域の方に呼びかけ、開催しています。また季節の折にはご挨拶に伺ったり、地域の清掃に毎回参加したりしています。
④①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	3				○作成し、訓練しています。今年度は周知を定期的に行うことができたのですが、定着には至りませんでした。また、新規契約者様への周知が遅くなってしまうことがありました。改善策として、必要な情報をまとめ、月に1度以上のペースでHUG上にUPしていきたいと思ひます。
④②非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	3				○避難訓練を定期的に行っています。
④③事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	3				○衛生管理研修で3か月に一度確認しています。
④④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	3				○食物アレルギーのあるお子様には医師の診断書を提出していただいています。
④⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	3				○ヒヤリハット事例集を作成しています。記入、共有の時間を朝礼、昼礼時に定め、記入と共有を強化していきまします。
④⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	3				○虐待防止研修を年間計画に定め、必ず行っています。
④⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	3				○身体拘束防止研修を年間計画に定め、必ず行っています。手つなぎ等が必要なお子様も安全を第一に話し合い、個別支援計画に記載、保護者様の許可をいただいで行っています。
④⑧(放デイ)平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定してしえんしているか。	3				○平日は年間計画に記載しています。休日、長期休暇の狙いは予約時の詳細に記載しています。また、イベント時でも個別支援計画の目標を意識しながら支援を行っています。
④⑨(放デイ)ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	3				○ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせています。
④⑩(放デイ)学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3				○年間計画や行事予定、下校時刻の予定表を保護者様へお願いして共有していただいています。学校様から直接いただけることもあります。連絡調整については学校様の方針によって、保護者様を介したり、直接ご連絡いただいています。
51(放デイ)就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3				○保護者様の許可をいただいた上で、保育園、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等、お子様が利用していた施設と情報共有しています。
52(放デイ)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2			○今年度は対象となるお子様がいませんでした。対象者がいた場合には実施していきまします。

スマイルライフ障害児通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）  
【事業者向け】自己評価表 集計結果 5人/6人 集計率83%

チェック項目	はい	いいえ	無回答	職員回答（自由記入欄）	管理者回答
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である。	5			・適切である。	○法令に則って、必要なスペースを確保しています。また、活動や人数によっては外や公共の施設を利用し工夫しています。
②職員の配置数は適切である。	5			・足りないときはお願いしている。	○法令に則って、必要な職員数を配置しています。また、2024年3月より新規職員が入職しました。
③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	4	1		・3棟の内、1つでもいいので浴室を汚物室のように利用することができるのと衛生的にいいのでは。 ・構造化している。	○一軒家を用いた施設のため、階段や段差があります。安全に配慮し、お子様が昇り降りするときには必ず職員が見守るようにしています。
④生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	5			・清掃専門の職員を配置している。	○利用終了後、必ず清掃をしています。専門の清掃職員も雇用しています。活動によって部屋作りを行い、必要のあるものだけ出すようにしています。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	5			・困ったことがあったら、会議で伝えている。	○研修や会議、朝礼、昼礼時に話し合いを行い、皆さんが参画できるようにしています。近隣の事業所と合同で常勤が集まり、月に1度会議を行っています。会議の内容は後日全職員へ共有しています。
⑥保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	5			・している。	○毎年保護者等向け評価表を実施しています。結果を基に業務改善につなげています。また、土曜日祝日のイベントに関するアンケートなども今年度は行いました。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	5			・している。	○保護者、職員共にHPやHUG、オフラインSNSで公開しています。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	2	3			○第三者による外部評価を行っていません。今後の課題としていきます。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	5			・外部からの研修を取り入れている。 ・研修が沢山ある。	○年間計画を立て、必須研修を月に1度以上行っています。（8月を除く）全員の参加を促すために、研修のWEB化を進めています。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	5			・している。	○半期に1度面談の機会を設け、現在の課題やニーズを聞き取りし、その上で個別の支援計画を作成しています。
⑪子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	5			・している。	○標準化されたアセスメントツール（WISC-IV、田中ビネー知能検査、新版K式発達検査等）を保護者様から共有して頂き、お子様の適応行動の状況を図っています。
⑫児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	5			・法改正を受け、準備中。研修を実施している。	○法改正を受け、対応中です。令和6年3月より順次対応しています。現在ご利用のお子様、保護者様にもご案内予定です。



⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	5			・昼礼で確認してから、支援している。	○個別支援計画に沿った支援を常に意識するようにしています。実態が異なってきた場合には個別のケース会議を行い、支援計画の修正を行っています。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っている。	5			・している。	○プログラムは職員全員で決めています。
⑮活動プログラムが固定化しないように工夫している。	5			・している。	○学校休業日のイベントを毎月話し合い、固定化しないよう、お子様の方のニーズに合うよう設定しています。平日のプログラムは年間計画に沿いつつ、お子様方の実態やニーズによって変更することもあります。
⑯子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	5			・している。	○お子様の発達課題やニーズに応じて、集団活動と個別活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援しています。
⑰支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	4	1		・している。パタパタしたときには個別で声をかけている。	○支援開始前に職員間で必ず打合せをしています。打ち合わせに参加できなかった職員への共有漏れを防ぐため、オフラインSNSをしようしたり、共有する職員を指定したりしながら、共有漏れを防いでいます。
⑱支援終了後は職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	3	2		・している。	○その日の提供記録を共有し合い、支援の振り返りを各自行ってもらっています。話し合いが必要な場合には別日で会議を設けています。
⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	5			・提供記録を全職員が共有している。	○提供記録の記入、共有を徹底しています。提供記録の中で気になったことは会議の議題としたり、良い支援であれば強く意識付けしたりしています。
⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	5			・している。	○半期に1度、面談期間を2か月程度設定し、ご希望の日程に合わせてモニタリングを行っています。その中で、計画の見直しを定期的に行っています。
㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	3	2		・サービス担当者会議の声がからないと聞いている。	○障害児相談支援事業所からサービス担当者会議の参画を求められたことがありません。関係者会議は参画したり、こちらから提案したりしています。
㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	5			・保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、特別支援学校、学童、他通所施設と情報共有、会議等を行っている。	○必要な機関と連携を図りながら支援をしています。
㉓（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	2		3	・医療的ケアが必要なお子さんが現在いない。	○現在、医療的ケアを日常の中で必要とするお子様のご利用はありません。
㉔（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等との連絡体制を整えている。	1		4	・医療的ケアが必要なお子さんが現在いない。	○現在、医療的ケアを日常の中で必要とするお子様のご利用はありません。
㉕移行支援として保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校（幼稚部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	5			・保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、特別支援学校、学童、他通所施設と情報共有、会議等を行っている。	○今年度は対象者がおりませんでした。同法人、近隣施設は行っています。
㉖移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	5			・担当者会議を行えているが、すべての学校で行えていない。 ・保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、特別支援学校、学童、他通所施設と情報共有、会議等を行っている。	○今年度は対象者がおりませんでした。同法人、近隣施設は行っています。
㉗他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	5			・専門機関との詳細な情報共有を行っている。 ・保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、特別支援学校、学童、他通所施設と情報共有、会議等を行っている。	○今年度は対象者がおりませんでした。同法人、近隣施設は行っています。
㉘保育所や認定子ども園、幼稚部等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。		5			○現在、障がいのないお子様方と交流する機会を設けておりません。今後の課題として、保護者様方のご要望や、お子様方の状況に応じて、検討していきたいと思っています。
㉙（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している。	3	2		・参加している。	○見沼区部会は発足されたので、参加しています。

③⑩日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	5			・伝えている。	○定期的な面談だけでなく、提供記録やメッセージのやりとり、お電話や送迎時に口頭といった方法でお伝えしています。
③⑪保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	3	2		・保護者からの困りごとに速やかに具体的な案を提供している。	○ペアレントトレーニングはプログラムとして明確に位置付けていません。保護者様のご相談は随時受けています。
③⑫運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	5			・している。	○見学時やご契約の際に、支援内容や利用者負担（上限額について等）について説明しております。また、文書を作成し、お渡ししています。
③⑬児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ている。	5			・研修を受けている。4月から実施。	○法改正に向けて現在対応中です。個別支援計画は必ず同意を得ています。
③⑭定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	5			・保護者からの困りごとに速やかに具体的な案を助言している。	○定期的な面談に加え、ご希望があれば面談やお電話、メッセージ等でお受けしています。
③⑮父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	1	4		・バザーで保護者同士の顔を合わせることができる。 ・各家庭毎状況が異なると思うが、事業所が行う催しの中で保護者の繋がりができる場を作る。（茶話会など）	○現在、父母の会の活動支援は行っていません。しかし、夏祭りやコンサート、バザーといった保護者参加型のイベントを増やしていきました。
③⑯子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	5			・している。	○保護者様方から頂いたご意見は、職員同士で話し合い、共有、改善するように努めています。また、対応者や責任者を事業所で定め、組織的に解決できるように整備しています。書式を「お客様の声」という題名にしたり、書式を簡略化したりしたことで共有しやすくなっています。
③⑰定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	4	1		・会報ではない。 ・HUG、Instagram、ブログなどでしている。	○会報は発行していません。HPやブログ、InstagramといったWEBサービスで、個人情報に気をつけながら公表しております。また、活動概要や行事予定をHUGでお知らせしています。
③⑱個人情報の取り扱いに十分注意している。	5			・している。	○個人情報に十分注意しています。
③⑲障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	5			・している。	○必要に応じて、個別で配慮を行っています。
④①事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		・バザー	○バザーを地域の方に呼びかけ、開催しています。また季節の折にはご挨拶に伺ったり、地域の清掃に毎回参加したりしています。
④②緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	5			・マニュアルを定期的に見直し、改善している。	○作成し、訓練しています。今年度は周知を定期的に行うことができましたが、定着には至りませんでした。また、新規契約者様への周知が遅くなってしまうことがありました。改善策として、必要な情報をまとめ、月に1度以上のペースでHUG上にUPしていきたいと思っています。
④③非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	5			・している。	○避難訓練を定期的に行っています。
④④事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	5			・衛生管理研修	○衛生管理研修で3か月に一度確認しています。
④⑤食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	5			・している。特にアレルギーが多いお子さんには個別で面談もしている。	○食物アレルギーのあるお子様には医師の診断書を提出していただいています。
④⑥ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	5			・している。	○ヒヤリハット事例集を作成しています。記入、共有の時間を朝礼、昼礼時に定め、記入と共有を強化していきました。
④⑦虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	5			・している。	○虐待防止研修を年間計画に定め、必ず行っています。
④⑧どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	5			・身体拘束を行うことはないが、研修をしている。	○身体拘束防止研修を年間計画に定め、必ず行っています。手つなぎ等が必要なお子様も安全を第一に話し合い、個別支援計画に記載、保護者様の許可をいただいております。
④⑨(放デイ)平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定してしえんしているか。	5				○平日は年間計画に記載しています。休日、長期休暇の狙いは予約時の詳細に記載しています。また、イベント時でも個別支援計画の目標を意識しながら支援を行っています。
④⑩(放デイ)ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	5				○ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせています。
④⑪(放デイ)学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5				○年間計画や行事予定、下校時刻の予定表を保護者様にお問い合わせで共有していただいています。学校様から直接いただけることもあります。連絡調整については学校様の方針によって、保護者様を介したり、直接ご連絡いただいております。
5   (放デイ)就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5				○保護者様の許可をいただいた上で、保育園、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等、お子様が利用していた施設と情報共有しています。

52(放デイ)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5			○今年度は対象となるお子様がいませんでした。対象者がいた場合には実施していきます。
--	--	---	--	--	---